

ジェイミックスタディー佐賀地区一

ニュースレター No. 1 2008年2月発行

ベースライン調査終了のご報告

佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野
教授 田中恵太郎

ジェイミックスタディー佐賀地区一参加者の皆様

余寒の候、皆様方におかれましては健やかに
お過ごしのことと存じます。

過日は、「日本多施設共同コホート研究
(ジェイミックスタディー)一佐賀地区一」に
ご協力いただき、誠に有難うございました。

2005年10月31日に開始いたしましたベース
ラインの調査ですが、2007年12月22日を持ちま
して、旧佐賀市の19校区すべての調査を終える
ことができました。全体で12,086人の方々にご協
力いただき、旧佐賀市にお住まいの40歳から69
歳の方の実に5人に1人が参加して下さったこと
になります。皆様方の善意に感謝いたしますとと
もに、責任の重さをしっかり自覚しながら、ご期待
に沿えるよう人々の健康の維持向上に役に立つ
研究を続ける所存でございます。

ベースライン調査へのご理解とご協力に重ね
て御礼申し上げますと共に、今後共ジェイミックス
タディーへのご協力を何卒よろしくお願い申し上げ
ます。

ベースライン調査参加者の一部の方々へ の調査票再回答のお願い

佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野
教授 田中恵太郎

ベースラインの調査票への回答の再現性(同じ
回答が得られるかどうかの確認)や正確さを評価
するために、参加者の皆様の中から一部の方々
(300~500名程度を予定)を無作為に選ばせて
いただき、下記の要領で調査票への再回答をお

願ういたたく存じます。なお、この調査はベー
スライン調査の際にご説明しておりました5年後
の第二次調査ではありません。

1. 調査実施時期

2008年4月から2008年12月まで実施いたし
ます。

2. 調査対象者

上記の調査実施時期のほぼ1年前(2007年4
月~2007年12月)にベースライン調査にご参
加いただいた方です。校区としては、新栄・勸
興・赤松・循誘・神野・開成・鍋島のいずれかの
校区で調査にご参加いただいた方になります。

3. 調査内容

ベースライン調査と同じ内容の調査票に、もう
一度ご回答いただきます。

4. 調査方法

郵送および電話で実施いたします。調査会場
までわざわざお出でいただく必要はありません。

選ばれた皆様には、調査票と返信用封筒を郵
送させていただきますので、ご多用中大変恐縮
ですが、再度ご記入の上、ご返送いただきますよ
うお願いいたします。どうかご理解とご協力をよろ
しくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

佐賀大学医学部社会医学講座予防医学分野
ジェイミックスタディー担当係
〒849-8501 佐賀市鍋島5-1-1
電話 0952-34-2286 ファックス 0952-34-2065

※裏面にジェイミックスタディー中央事務局(名古屋
大学予防医学教室)からのご連絡がありますので、
そちらの方もご覧ください。

ジェイミックスタディ中央事務局(名古屋大学予防医学教室)からのご連絡

検体解凍に対するご報告とお詫び

日本多施設共同コーホート研究主任研究者
名古屋大学大学院医学系研究科
予防医学/医学推計・判断学 教授 浜島信之

日本多施設共同コーホート研究(J-MICC 研究) 参加者の皆様

文部科学省科学研究費補助金「特定領域研究」の研究助成を受けて実施しておりますJ-MICC 研究が順調に進んでおりますこと、参加者の皆様に厚くお礼申し上げます。本研究は、多くの方々のご理解、ご協力、また積極的な研究参加なしには成り立たない研究であり、今後ともご支援を宜しくお願い申し上げます。

皆様からご提供いただいた情報と試料の保存・管理に関しましては、細心の注意を払ってまいりましたが、名古屋大学大学院医学系研究科予防医学/医学推計・判断学教室に設置されている中央事務局保管分の血液検体の一部が不注意により平成18年12月に解凍し、研究に使用できなくなりました。遅ればせながらご報告申し上げますとともに深くお詫び申し上げます。

各登録地域の研究グループにご提供いただいたサンプルは、各研究グループと名古屋大学大学院医学系研究科予防医学/医学推計・判断学教室の中央事務局とでほぼ半量ずつ冷凍保管されています。使用できなくなった検体は中央事務局保管分で、1,247 人の方からご提供いただきました血液の各人につき8分の1にあたる量です。残りの8分の7につきましては無事保管しており、今後の研究に有効に利用させていただきます。

中央事務局では収納済みの検体が間違いなく保管されていることを再確認し、同様の事故を再

発させないよう事故後ただちに取扱手順のみなおし作業を行いました。また、より確実な安全性を確保するため、研究グループ全体としての対応を平成19年6月12日の運営委員会にて検討致しました。その結果、検体収納手順を具体的に記載した「検体収納手順書」を作成し、これを遵守致しております。この手順書は必要に応じて、今後さらに改良してまいります。

ご提供いただきました貴重な検体の一部を失う事故を起こしましたこと、またご報告が遅れましたことにつきまして、心からお詫びを申し上げます。

なお、詳細につきましては、J-MICC 研究のホームページ <http://www.jmicc.com/> をご覧いただければ幸いです。本件につきましての、お尋ねおよびご意見は 052-744-2823(J-MICC 中央事務局)もしくは 052-744-2133(主任研究者:浜島信之)までお願い申し上げます。

あなたのご協力が
みんなの明日につながります

J-MICC STUDY

生活習慣病の予防を目指した疫学研究
J-MICC Study (ジェイミックスタディ) を
今後ともどうぞよろしく申し上げます

